

会 議 報 告 書						
会 議 名	令和7年度第1回草津市認知症施策推進会議					
開 催 日 時	令和7年7月15日(火) 14:30~16:00					
開 催 場 所	キラリエ草津 501会議室					
委 員	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
	委 員	金森 雅夫	出席	委 員	竹村 直人	出席
	委員長	宮川 正治	出席	委 員	中村 敏治	出席
	副委員長	中野 悦次	出席	委 員	原田 節子	欠席
	委 員	山口 好則	欠席	委 員	服部 勝義	出席
	委 員	服部 静香	出席	委 員	谷口 岩人	出席
	委 員	岡村 加奈子	出席	委 員	谷村 豊彦	出席
	委 員	松永 将孝	出席	委 員	藤田 喜代美	欠席
	委 員	青根 ひかる	出席			
事 務 局	健康福祉部：黒川部長					
	長寿いきがい課：堀井課長、田中課長補佐、三越課長補佐、林田副係長、朝田主任、北川保健師					
	介護保険課：大西課長、木村参事、前田課長補佐、橋本係長					
そ の 他	傍聴者 なし					

## 1. 開会および挨拶

<草津市附属機関運営規則に基づき、本委員会が成立していることを報告>

<健康福祉部長から挨拶>

## 2. 議事

### (1) 草津市認知症施策アクション・プラン第4期計画について

○事務局

<資料1に基づき説明>

○委員

認知症の検査は運転免許の更新時に75歳以上が受ける認知機能検査と同様のもの

なのか。

○委員長

認知症の診断については、総合的に判断するものであるが、運転免許の更新時に実施されている認知機能検査と同様の検査も一部含まれている。

○委員

草津市認知症高齢者等個人賠償責任保険で、実際に保険が適用された事例について、可能な範囲で詳細を教えてください。

○事務局

散歩中に病院の門を損傷した事例について適用された。

○委員

保険について他に相談のあった事例はあるか。

○事務局

スーパーでお金の支払いを忘れて商品を持ち帰ってしまったことがあるが、もしお店から請求されたときに適用になるかどうかの問い合わせがあった。

○委員

本人ミーティングについて、第1回目と第2回目の参加者は同じ人物か。また、可能であれば参加者の年齢層について教えてください。

○事務局

第1回目と第2回目の両方に参加しているのは1名のみである。年齢は80代の方が多い。

○委員

若年層の方の参加が多いイメージはあるが、どの層をターゲットにしているのか。

○事務局

年齢層は問わない。

○委員長

本人ミーティングに参加している家族は、本人の配偶者かお子さんかどちらが多いのか。

○事務局

配偶者が多いが、お子さんも来ている。また、家族のみで参加している方もいる。

○委員

行方不明が発生した際に、防犯カメラは見せてもらえるのか。

○事務局

事件性があると判断された場合に、情報開示されるものである。

○委員

認知症高齢者等個人賠償責任保険について、もう少し詳細に教えてほしい。例えば、

地域サロンでの行き帰りの事故や活動中の体調不良なども適応されるものなのか。

○事務局

認知症高齢者等個人賠償責任保険については、委員が言っているような事例に適用されるものではなく、認知症の人や認知症の疑いのある方が、日常生活における偶発的な事故等によって、他人のものを壊したり、自転車事故などで相手方に損害を負わせてしまったりして、法律上の損害賠償が発生した場合に補償するものである。

○委員

認知症の方に限らず、活動中の事故は起こると思うが、市で一括に手続きをしてもらえるような保険はないのか。

○事務局

地域サロンに関する保険については、市社会福祉協議会から各地域サロンに照会して、希望されたサロンに加入いただいている。活動中の事故については、保険の対象となる。

○委員長

「草津市認知症施策アクション・プラン」の中に、地域サロンへの活動支援も含まれているので、より安心して活動できるような取組があれば検討いただきたい。

○委員

早期の相談件数が増えたことは喜ばしいことだと感じた。若年性認知症に関する取組について教えてほしい。

○事務局

若年性や軽度認知症の方の居場所づくりについての事業を県で実施しており、市内で開催されている認知症カフェについて、広報くさつや市ホームページでの周知を実施した。

○委員

今後も取組を進めてほしい。成年後見人について、金銭面以外の支援があれば教えてほしい。

○委員

成年後見センターもだまでは、市から委託を受けて成年後見制度に関する相談、利用のための手続きにかかる支援、後見人の後方支援などを行っている。後見人の困りごとについても、成年後見センターに相談いただければと思う。

○委員長

成年後見センターはどの市町村にも設置されているものなのか。

○委員

設置がすすんでいるところであるが、全ての市町村に設置されているものではない。

○委員

見守りキーホルダーとシールについて、本人が鞆などを持って出かけない方である場合、活用が難しい。また、シールについても衣服や靴の中などに貼れるタイプだとより使いやすい。他市でそのようなタイプのものもあるので参考にしていきたい。

○事務局

見守りキーホルダーとシールについて、認知症地域支援推進員と見直しを行う予定である。委員の提案内容についても検討していきたい。

## (2) 認知症高齢者等見守りネットワーク事業について

○事務局

<資料2に基づき説明>

○委員

地域包括支援センターやケアマネジャーの会議に参加することがあるが、地域包括支援センターと市は情報共有できているのか。

○事務局

各圏域の包括で課題と思っていることについてテーマに設定し、会議を実施している。当課の包括の担当と認知症施策の担当、各地域包括支援センターで情報共有は行っているが、引き続き連携を深められるように努めていきたい。

○委員長

民生委員やケアマネジャー向けに、見守りネットワークについて周知しているか。

○事務局

ケアマネジャー連絡会や民生委員の定例会などで説明を行っている。

○委員長

機会を見つけて周知をはかっていただきたい。個別の事例の中で、見守りネットワークが機能したかどうかについても検証ができるとより良いものとする。

○委員

地域包括支援センターとの情報共有をお願いしたい。

○委員

一人暮らしで認知症の方について、市で把握できているのか。

○事務局

各地域包括支援センターで把握に努めている。支援の届かない方が出ないようにと考えているが、職員にも限りがあるため、民生委員の協力が必要である。地域包括支援センターとして、民生委員との連携を課題に感じており、定期的に交流会などを開催しているところである。

○委員

市内の医療機関で把握している方もいると思うので、連携できるよう働きかけてはどうか。

○事務局

医療機関と地域包括支援センターの連携を深められるように働きかけていきたい。

○委員

認知症の治療薬はあるのではないか。

○委員長

治療薬はあるが、認知症を治す薬ではない。

○委員

見守りについての取組をまとめたチラシについて、多くの人の目に留まるような内容や配布方法を検討していただきたい。見守りキーホルダーについても、事業そのものを正しく周知した上で、本人が身につけやすい工夫をしてほしい。

○事務局

チラシの内容などについて工夫を重ねていきたい。

○委員

市民の方に見守りや声かけをしていただけるように、お互いに協力していければと思う。

○委員

地域包括支援センターと関わることなく、介護サービスを利用している方が増えているように感じる。

○事務局

介護認定の申請の際に、地域包括支援センターへの情報提供について同意を得ている。多くの方は同意いただけているが、同意されない方もいるので、介護サービスを利用している方で、地域包括支援センターが把握していない方もおられると考えられる。民生委員でそのような方の把握に努めていただくというよりは、困りごとを抱えている方について、地域包括支援センターに情報提供いただけるとありがたい。

○委員

見守りネットワーク加盟事業所と認知症の人にやさしいお店の違いについて教えてほしい。

○事務局

認知症の人にやさしいお店は、認知症サポーター養成講座を受講した方がおられる店舗や事業所のことであり、見守りネットワーク加盟事業所については、認知症サポーター養成講座の受講の有無に関わらず、見守りネットワーク事業に協力いただける店舗や事業所のことである。

○委員

介護者家族の集まりなどはあるのか。

○事務局

本人ミーティングでは、本人と家族に分かれて話しており、認知症の介護に関わる家族どうしで悩みなどを共有されている。また、認知症カフェや家族介護教室でも、家族どうしでお話しいただける。

○委員

本人の前では話しにくいこともあるので、家族どうしの悩みの共有などできる場は大切だと感じる。

**4. 閉会**